

Monthly
月刊

開成町議会 & 活動報告

山下レポート

2025
July
Vol.26

曲がり角、日曜議会

持ち時間30分、議員には時間不足も傍聴者には適度な時間 効かない空調は要改善

6月22日、恒例の日曜議会が開催されました。日曜議会は2005年から、日ごろ傍聴できない方に向けた取り組みとして始まり、今年で21回目を迎えます。

今年も延べ50名の方に傍聴していただきました。中にはお子さんも含めたご家族一緒に来られた方もあり、日曜議会の意義は確かにあります。ただ議場のある庁舎3階の廊下には空調の吹き出し口がありません。大型スクリーンを設置したものの、当日は相当暑かったので、果たしてそれが良かったのかどうか、疑問が残りました。

暑いのは議場内も同じで、議員や町職員がせわしく扇子や団扇で仰ぐ姿が傍聴者にとってどう映ったのか気になります。

開成駅は街はずれ、言い切った井上議員

今回の一般質問で、開成小学校の未来の姿を問いかけた井上議員ですが、教育長に「ノープラン」と言ってみたり、駅前周辺を「街はずれ」と断言するなど、聴いて思わずニヤリとする場面がありました。確かに物理的に駅周辺は、小田原市との市町境です。根底には町の名前のもととなっ

た開成小学校は、物理的にも町の中心であるという、元PTA会長の井上議員の心意気を感じました。

今西議員は「スマホ時代の新たないじめ」を取り上げました。教育長からは学校でできることは十分やっている、スマートフォンを買い与えるのは親なので、基本的には家庭の問題、との答弁がありました。極めて正論だと思いますが、それでは道具がスマートフォンであるという視点しかありません。「いじめ」という観点が抜けていました。また家庭の問題であっても、親の学びの場としてPTAの家庭教育学級で取り上げることにはできます。そうした具体的なやり取りが欲しかったと思います。

課題/提案は前向きに検討との答弁

私の一般質問の中では、被災時の避難所の環境を問いました。避難所の写真で見る「雑魚寝」の改善のためには、「避難ルーム」というテントが600セットあるとのこと。公民館等避難所/避難場所のトイレの洋式化については順次進めていくとのことでした。また、今回は被災時に自治会に求めること

を通告文には書いていて、答弁では災害情報の収集・伝達、初期消火活動、町民の避難誘導、地域避難所の開設・運営など数多く上がりました。自治会の役員も被災者となっているので、そんなに多くは担えません。最優先は何か、再質問では訊く時間がなかったので、後日担当課と行う振り返りの中で確認しました。避難誘導と被災状況の報告を最優先でお願いしたいそうです。

キャンピングカーの協定は庁内手続き済み

その振り返りの中で、紙の資料が示されました。手に取ると、キャンピングカーの団体との協定に向けた庁内手続きの書類でした。一般質問で、1.5時避難所として中古キャンピングカーの販売者と協定を結んではどうかと提案していました。既に進めていたのかと思いましたが、生配信を見ていた担当課の班長が、すぐに調べて月曜日には書類の提出までしてくれたとのこと。提案を具体的に進めてくれたこと自体よかったです。それよりもそうした「機を見るに敏」な職員がいることを頼もしく思います。

持ち時間30分 議員に短し、聴衆に程よし



長い歴史のある日曜議会ですが、色々と課題も見えてきました。物理的なことでいえばやはり場内が暑すぎます。傍聴者に対して我慢を強いるような状況は改善されるべきです。

また、全員が1日で登壇できるようにと議員一人当たりの持ち時間が通常の半分の30分です。これは答弁の時間を含めてなので、答弁のピントがずれていたり、無駄に長いと、予定していた再質問を十分に消化できなくなります。この30分の時間、傍聴されていた知人からのメールではによると、『傍聴する側には、30分で登壇者が変わるのにはちょうどよい』とのことでした。実は議員側は、私を含めて30分は短いねという意見が大勢を占めていました。しかし、傍聴者がちょうどよいといわれるなら我々もさらに質問を練り、工夫する必

要があります。通告文から見直して、最初の答弁が短く収まり、且つ再質問できる範囲が狭くならないようにして、テンポよく、緊張感のあるやり取りになるように努力します。これが通常の1時間の時に、より中身の濃い一般質問なることにもつながります。今回の日曜議会でも、僭越ながら私が聴いていても、質問より主張が長いとか、どんな答弁を引き出したいのかわかりにくいものもありました。

6月13日には議会全体で一般質問に関する研修も受けましたが、一度の研修ですぐに結果は出ません。あるいは今の形の日曜議会を継続するのか、そのあり方も再検討すべきかもしれません。

小田急の協力拡大も、町の出迎え姿勢は今一歩 ～あじさいまつり～

6月のあじさいまつりは、223,000人の来場客があったとの発表がありました。

昨年・一昨年は221,000人で同数でしたので、1%とはいえ増加したことになります。

ロマンスカーも期間中、1本だけですが毎日開成駅に停車しました。昨年は土日だったので、利用客は2.8倍、1日当たりの利用客も昨年比124%でした。人数そのものより、小田急電鉄がそこまでの体制を敷いてくれたことに意味があると思います。

町の発展は小田急グループの支援如何によるところ大ですから。

逆に気になる点もありました。

開幕日の7日、翌8日の土日に、開成駅前の花壇に花が全くありませんでした。

古田島高校に植栽をお願いしている花壇です。学校の予定次第とはいえ、町最大のイベントですから、花が咲いている状態に

なるよう高校側にお願いすべきでした。

実は5月5日、音楽イベントなどが開催された日も、花こそありましたが、雑草が繁茂しており、町外からの来客も想定されることから、当日の朝に草むしりを行いました。前職ではパシフィコ横浜や幕張メッセで数千人規模のイベントを開催していましたが、駅からの導線にどうやって歓迎の気持ちを表すかから計画されていました。

おもてなしの姿勢はこんなところに現れるからです。

5月末に町民の方から、あじさいまつりに来た観光客が通る家の前の水路の草をきれいにしたい、と連絡がありました。観光客へ町の印象を良くしたいという思いからです。

町にもこのくらいの意思がほしかったと思います。水路はあじさいまつりの開幕までに、その方と一緒に清掃完了しました。



6/8の駅前の花壇



あじさいが映える水路

参議院議員選挙雑感

かつての欧州を思わせる極右の台頭 選挙期間中から異例の検証報道

この号の配布は7月20日の参議院議員選挙が終わってから始めています。選挙期間中は様々な制約があるからです。この記事自体投票日前に書いています。

そして今回の参議院議員選挙では、これまでにない極右政党の台頭がありました。

欧州では2010年代初頭から「ネオナチ」と言われる民族純血主義・外国人排斥を主

張する若者が増えましたが、その原因は移民の増加と不況だと言われています。

今回の参院選でも外国人排斥、自国民第一主義を訴える政党が勢いを見せ、その背景も欧州と同様です。ただし日本で働く外国人は、欧州の移民の数に比べ桁違いに少ないです。また移民政策でいえば経済移民を積極的に受け入れている国が経済発展を成し遂げています。カナダ、オーストラリア、シンガポールなどがそうです。シンガポールは国民の43%が国外で生まれた人ですが、世界銀行の2023年のでデータでは、国民1人当たりの GDPは84,734.26 ドルです。

日本は33,766.53ドルDですから、実に日本の2.5倍です。

人に序列をつけるような政策は、いずれファーストからファシストへ、あるいはカーストのごとき差別主義に繋がります。一方、選挙期間中の報道としては異例ともいえるファクトチェックを、新聞を中心とした既存メディアがはじめました。「社会の公器」と言われる新聞の矜持を見た思いです。ただ、スマートフォンはアルゴリズムによって自分に都合のいい情報しか届けません。スマホしか見ない世代にどれだけ届いたのか、その行く末が気になります。

6月の主な日程

3日	総務経済常任委員会
4日	開成小学校議場体験傍聴
6日	作業部会
7日	あじさいまつり開会式
8日	あじさいまつ案内ボランティア
9日	山北町議会傍聴
12日	議会運営委員会
13日	広報分科会 / 議員研修
20日	議会本会議
22日	日曜議会
25日	議会運営委員会 / 総務経済常任委員会 / 作業部会
26日	一般質問振り返り



まつしまびあの教室/ギター科 レッスン生募集！

小学生から60代まで、幅広い年代の生徒さんがいます

- あなたの弾きたい曲でレッスンできます！
- 復習のための振り返り動画が送られてきます
- レッスン時間は選択可能
- エレキギター/アコースティックギターどちらも可

無料
体験レッスン
受付中！

【問合せ先】
QRコードから
公式LINEへ



まつしまびあの
教室の
Instagram



講師：笹原 ゆうた先生

★グループレッスンも対応可
教室の場所：開成町古田島752-13
(古田島交差点そば)

※まつしまびあの教室には、ピアノ/リトミック/英語リトミック/ボーカル教室があります。

ご意見・ご感想をお待ちしています
090 - 2259 - 4785
sumio.yamashita2847@gmail.com

広告募集中
2/9ページ2,000円
詳細は問い合わせを

山下 すみお
ホームページ



後援会
申込み

